

びっくりした。橋下徹大阪市長は、大阪都構想の住民投票に敗れて言った。「民主主義は素晴らしい」。その心中を推し量るすべはないが、口にした言葉そのものには賛意をあらわしたい▼問題は民主主義の中身である。同じ記者会見で橋下氏は『たたく潰す』と言って潰された」と語った。いつもながらの物騒な言い回し。氏の手法が「ケンカ民主主義」などと評されてきたゆえんだが、「改革」のためとはいえ、始終ケンカでは疲れてしまう▼是か非か、二者択一を人々に迫る。攻撃的な言葉で論敵を徹底的にやっつける。多数決で結果が出たら、もう文句は言わせない。争点を単純にし、そのぶん対立を深刻にする政治である。ついにその限界がきたということか▼民主主義は確かに優れた仕組みだが、やりようによっては大いに危なっかしい。民主的に行われた選挙なり国民投票なりが、結果として独裁者を登場させた例は歴史上少なからずある。独裁まで至らなくても、多数派の専横に陥る危険は常にある▼民主主義の取り扱いには注意が要る。そのことを橋下氏の政治手法は如実に示した。氏にアクセルはあっても、ブレーキを欠いていたというべきか。スピード感も大切だろうが、時に減速して時間をかける知恵も政治には必要だ▼橋下氏は自身をワンポイントリリーフの投手に見立てた。だが、私たちの選ぶ為政者が常にワンポイントで終わる保証はない。橋下流から学ぶべき教訓は、大阪の人々だけのものではない。